

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 243

事業名	軍人恩給連盟補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3002		項	社会福祉費・1項	
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	社会福祉総務費・1目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		なし		
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	大好き ふるさと南あわじ【郷土愛】			
	施策目標	地域の歴史を学び、祭や伝統文化に親しみ、語り継ぐことのできる市民を育てる			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)				
		南あわじ市軍人恩給連盟(旧軍人)			構成人数(人) 427	
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 旧軍人、旧軍属及びその遺族の恩給を抱擁して、常に適正な恩給を確保すると共に、道義の高揚を図り、国策の推進に協力し、また国家隆盛に寄与する。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等)				
		1. 軍恩運動に関する広報、宣伝 2. 恩給に関する請願、陳情 3. 恩給に関する諸問題の相談 4. 恩給手請求続きの指導援助 5. その他、目的達成上の必要事項				
	団体の概要	(どのような団体が、活動目的、活動内容など)				
		恩給を受給する旧軍人、旧軍属及びその遺族が、恩給を擁護し、常に適正な恩給を確保するため、上記事業を実施する。主な活動は、軍恩連盟全国連合会大会に参加し、各種追悼式・慰霊祭に出席し、戦没者等の遺徳を顕彰する。また、適正な恩給を受給するため、請願や陳情を実施し、研修会で学習する。そして、会員相互の親睦と理解を図るため研修旅行を実施する。				
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (福祉課)	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ()	<input type="checkbox"/> 旧村単位 ()
補助金算出根拠	南あわじ市補助金等交付規則、南あわじ市軍人恩給連盟活動補助金交付要領 旧軍人旧軍属及びその遺族の戦争犠牲者に対する活動を促進するため補助金を交付する。					
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 三原郡町村会事業を市に引き継ぐ。					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	252	252	252	210
	軍人恩給連盟補助金	252	252	252	210
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	252	252	252	210
	人件費(正規職員)[B] (千円)	368	359	361	361
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	12	12	12	12
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	620	611	613	571
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	1.5	1.4	1.4	1.3
受益者人数(427)一人当り経費(千円)	1.5	1.4	1.4	1.3	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 恩給相談や恩給請求の指導援助などの事業を実施することで、会員の生活維持及び福祉の増進に役立っている。また、軍恩全国大会の参加、各種行事や研修旅行及び地区活動等の実施で、高齢化した会員相互の一致団結や理解と親睦を図る上で、南あわじ市の補助金の効果が上がっている。	自己評価 (5点評価)
		4
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 各種事業を実施するうえで、地区組織の弱体化や会員の死亡に伴い、会費が減少している。安定した運営を持続するためには、南あわじ市の補助金は欠かすことの出来ない財源となっている。	自己評価 (5点評価)
		3
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 会員の高齢化に伴う、組織の弱体化や各種事業の先細りが懸念されるが、役員を中心に、現在のところ事業計画を着実に実施されているので、当面現状を維持していきたい。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p> </div>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減
	<p>大幅な事業の拡大は望めないが、現在の事業を着実に実施していきたい。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)	<p>今後とも経費節減の上、継続して会の運営に努める。</p>	同左
改善によって期待される効果	<p>活動は継続しつつ予算節減となる。</p>	同左
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 補助金を廃止した場合、各事業の縮小、または会員相互の親睦、福祉の増進に支障がでます。</p>	